

離島航路だより vol.5

(周南市 大津島編)

山口県交通政策課
平成 26 年 10 月

今回の離島航路だよりは、山口県交通政策課でインターンシップ（業務体験）を行った大学生4人が、徳山港の沖合いに位置する『大津島』を紹介します。

<航路の概要>

本土側の乗船場は、JR 徳山駅南口から徒歩5分の徳山港です。
使用船は「フェリー新大津島」と旅客船「鼓海Ⅱ」の二隻。

二隻とも船内には車いすの方も快適に過ごせる空間があります。
また、2階に上がれば、開放感あふれる座席で海風を感じながらの船旅も楽しめます。

当日は、晴天で波も穏やかで、船上からの景色は最高でした。



〔フェリー新大津島〕



〔鼓海Ⅱ〕



〔車いすスペース(フェリー新大津島)〕

広島や下関からの観光客も多数、乗船されており、皆さんが海から見る周南の工場群や瀬戸内海の島々の風景を楽しまれていました。

スナメリの群れに遭遇することもあるそうです。
夜には「周南コンビナート夜景ツアー」が実施される日もあるとのこと。

夜のクルーズも楽しそうですね！



〔周南の工場群〕



<島内の様子>

大津島は、戦時中には、島の周辺で人間魚雷「回天」の訓練が行われていたことで知られ、今も、訓練に使用された基地跡が残されています。

また、「回天」にまつわる遺品、模型などを展示した回天記念館が設置されています。



〔回天訓練基地跡〕



〔回天記念館〕

春には桜見物、夏には海水浴で賑わうそうです。
島周辺が、絶好の釣り場となっており、当日も釣り道具を抱えたお客さんが乗船されていました。

特に秋はアジがよく釣れ、釣行にはお勧めのシーズンらしいです！



〔刈尾海水浴場〕

<島内の移動手段等>

旅行者の島内での移動方法は、徒歩か自転車が基本ですが、主な観光地は港周辺にあるので問題なし！

馬島港近くの「大津島ふれあいセンター」には貸自転車があり、島内のサイクリングマップも整備されています。

美しい景色を眺めながら、サイクリングでのんびりと島めぐりもお勧めです。

島内には、電気自動車「そよかぜ号」が走っていました。

島民の方限定のコミュニティバスだそうです。

環境に優しい大津島です！

島での宿泊は、民宿のほか、ロッジも整備されています。



〔そよかぜ号〕



〔大津島ふれあいセンター〕



徳山港～馬島港

- ・ 1日7往復
- ・ 片道大人 710円
- ・ 子供 360円



【インターンシップ生の感想】

- フェリー初体験だったが、フェリーから見る海や島々の景色は最高だった。
- 船上で直接風に当たり、水の音を聞き、自然を体全体で感じる事ができた。
- 大津島はのどかで島民の方も親切で、ゆっくりと時間が過ごせる島だと感じた。
- 自然をフルで感じられる大津島に、たくさんの観光客に来てもらいたいと思った。
- 島の方にとって、フェリーやコミュニティバスは重要な交通手段だと実感した。